

わたしたちは、

海でつながっている。

ともにみる、ともにかたる、

ともに未来をかんがえる。

第23回 BeSeTo 演劇祭 鳥取

23rd BeSeTo Theater Festival in Tottori

日本、中国、韓国の舞台が集まる国際演劇祭。今年は鳥取を中心に開催。

An international theater festival with performances from Japan, China and Korea.

2016年9月14日(水)～10月10日(月・祝)

Wed 14 September - Mon 10 October 2016

会場：とりぎん文化会館(鳥取市)

倉吉未来中心(倉吉市)

米子市文化ホール(米子市)

鳥の劇場(鳥取市鹿野町)

夢みなとタワー(境港市) [※2016年8月27日(土)シンポジウム開催]

www.birdtheatre.org/beseto23rd/



岡山から	京都から	大阪から	東京から
JR 鳥取 約2時間 倉吉 約3時間 米子 約2時間15分 境港 約3時間15分 車 鳥取 約2時間45分 倉吉 約2時間15分 米子 約2時間15分 境港 約2時間30分 ※倉吉・米子行きの高速バスが運行しています	JR 鳥取 約3時間 倉吉 約3時間15分 米子 約3時間30分 境港 約4時間30分 車 鳥取 約3時間 倉吉 約3時間45分 米子 約3時間30分 境港 約4時間 ※鳥取・米子行きの高速バスが運行しています	JR 鳥取 約2時間30分 倉吉 約3時間 米子 約3時間30分 境港 約4時間30分 車 鳥取 約2時間30分 倉吉 約3時間15分 米子 約3時間 境港 約3時間30分 ※鳥取・倉吉・米子行きの高速バスが運行しています	飛行機 鳥取 約1時間15分 米子 約1時間20分 JR 鳥取 約5時間30分 倉吉 約5時間45分 米子 約6時間 境港 約6時間45分 ※鳥取・倉吉・米子行き の夜行バスが運行しています

とりぎん文化会館 〒680-0017 鳥取県鳥取市尚徳町101-5 電話:(0857)21-8700

- | | |
|--|---|
| ■JRを使って……………
(最寄駅はJR鳥取駅です。)
□鳥取駅から
・徒歩 約20分
・路線バス 「県庁日赤前」下車(所要時間:約5分)
・100円循環バス【くる梨】「とりぎん文化会館」下車(所要時間:約15分) | ■車を使って……………
□鳥取自動車道、鳥取ICから約15分
□倉吉市中心部から約1時間10分
□米子市中心部から約1時間55分 |
|--|---|

倉吉未来中心 〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町212-5(倉吉パークスクエア内) 電話:(0858)23-5390

- | | |
|---|---|
| ■JRを使って……………
(最寄駅はJR倉吉駅です。)
□倉吉駅から
・タクシー 約10分
・路線バス 「倉吉パークスクエア」下車(所要時間:約12分)
もしくは「倉吉パークスクエア北口」下車(所要時間:約9分) | ■車を使って……………
□米子自動車道、湯原ICから約50分
□鳥取市中心部から約1時間10分
□米子市中心部から約1時間15分 |
|---|---|

米子市文化ホール 〒683-0043 鳥取県米子市末広町293 電話:(0859)35-4171

- | | |
|---|--|
| ■JRを使って……………
(最寄駅はJR米子駅です。)
□米子駅から
・徒歩 約2分 | ■車を使って……………
□山陰自動車道、米子南ICから約10分
□鳥取市中心部から約1時間30分
□倉吉市中心部から約1時間10分 |
|---|--|

鳥の劇場 〒689-0405 鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1812-1 電話:(0857)84-3268

- | | |
|--|--|
| ■JRを使って……………
(最寄駅はJR浜村駅です。)
※公演日は浜村駅と会場の間を、
車で送迎いたします。(無料、要予約)
□浜村駅から
・タクシー 約15分
・路線バス 「立町(鹿野)」下車(所要時間:約20分) | ■車を使って……………
□山陰自動車道、鳥取西ICから約30分
□鳥取市中心部から約40分
□倉吉市中心部から約50分
□米子市中心部から約1時間30分 |
|--|--|

夢みなとタワー 〒684-0046 鳥取県境港市竹内団地255-3 電話:(0859)47-3800

- | | |
|--|---|
| ■JRを使って……………
(最寄駅はJR余子駅です。)
□余子駅から
・タクシー 約6分
・はまーぷバス 「夢みなとタワー」下車(所要時間:約8分) | ■車を使って……………
□山陰自動車道、米子東IC・米子自動車道、米子ICから約30分
□鳥取市中心部から約2時間15分
□倉吉市中心部から約1時間30分
□米子市中心部から約30分 |
|--|---|

宿泊について [会場周辺の温泉や宿の問合せ先です]

【鳥取周辺】 ●鳥取駅前・市街地	□鳥取市観光案内所	(0857)22-3318	www.torican.jp
●鹿野温泉	□山紫苑	(0857)84-2211	www.sanshien.jp
	□お宿夢彦	(0857)84-2411/(0120)61-0417	www.yumehiko.co.jp
●浜村温泉	□旅風庵	(0857)82-0531	ryofuan.com
●吉岡温泉	□吉岡温泉旅館組合	(0857)57-0800	yoshiokaonsen.com
【倉吉周辺】 ●倉吉駅前・市街地	□倉吉観光マيس協会	(0858)24-5371	www.apionet.or.jp/kankou
●三朝温泉	□三朝温泉旅館協同組合/三朝温泉観光協会	(0858)43-0431	spa-misasa.jp
【米子周辺】 ●米子駅前・市街地・皆生温泉	□米子市観光協会	(0859)37-2311	www.yonago-navi.jp/yonago
【境港周辺】 ●夢みなとタワー周辺	□境港マリーナホテル	(0859)45-3111/(0120)45-0173	marinahotel.sanin.jp
●境港駅前・市街地	□境港市観光協会 観光案内所	(0859)47-0121	www.sakaiminato.net

【主催】日本BeSeTo委員会 第23回BeSeTo演劇祭実行委員会 鳥の劇場運営委員会 平成28年度 文化庁 戦略的芸術文化創造推進事業 鳥取県
 【共催】鳥取市 公益財団法人舞台芸術財団演劇人会議 特定非営利活動法人鳥の劇場
 【協力】NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会 株式会社ふるさと鹿野 株式会社サファル鹿野 鳥取大学地域学部附属芸術文化センター
 【助成】平成28年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業 一般社団法人東京倶楽部
 【後援】倉吉市 米子市 鳥取県教育委員会 鳥取市教育委員会 倉吉市教育委員会 米子市教育委員会 新日本海新聞社 朝日新聞鳥取総局 山陰中央新報社 毎日新聞鳥取支局 読売新聞鳥取支局 産経新聞鳥取支局 日本経済新聞鳥取支局 中国新聞鳥取支局 日本海テレビ BSS山陰放送 TSK山陰中央テレビ 共同通信社鳥取支局 時事通信社鳥取支局 日本海ケーブルネットワーク 中海テレビ放送

BeSeTo演劇祭は、日本、中国、韓国の演劇人の、連帯への強い信念に支えられて、政治的な混乱の中でも20年以上一度も欠かさず開催されてきました。現在は三国演劇人の友情と信頼の象徴であるとともに、東アジアの新たな文化を広く世界に発信するためのプラットフォームともなりつつあります。

このたび、日本BeSeTo委員会は、鳥取、富山、新潟の連携による環日本海地域の国際協働と発信を、新しい活動の柱として加えることを決めました。それは、文化の東京集中からの脱却であり、環日本海三国の交流という古代からの伝統の新しい再生の動きでもあります。

2016年は、東京開催の歴史とノウハウを継承しつつ、鳥取県での開催を中心とし、新潟市にも作品を巡回します。演劇関係者や愛好家だけでなく、広く一般の市民にも作品の魅力を紹介し、演劇という祝祭的な時・場を通じての東アジアの交流と連帯の確認の機会とすることを目指します。公演と並行して、学校などでワークショップも開催し、交流の深化を図ります。

BeSeTo演劇祭の歴史

韓国の故・金義卿氏(元I.T.I.韓国センター会長)が、中国の徐曉鐘氏(元中国戯劇家協会副主席)と日本の鈴木忠志氏(元(財)舞台芸術財団演劇人会議理事長)に呼びかけ、1994年7月、日本、中国、韓国の三国が共同で行うフェスティバル、BeSeTo演劇祭が発足。同年ソウルで第1回を開催。以後、東京、北京、ソウルの順に三ヶ国持ち回りにより毎年開催。

第23回BeSeTo演劇祭実行委員会

- 顧問 平井伸治(鳥取県知事)
鈴木忠志(演出家/劇団SCOT主宰)
林田英樹(元文化庁長官)
- 会長 中島諒人(演出家/鳥の劇場芸術監督/日本BeSeTo委員会代表)
- 副会長 法橋誠(鳥取大学理事・副学長)
- 委員 飯田清紀(一般財団法人鳥取県観光事業団/夢みなとタワー館長)
岡雄一(米子市教育委員会文化課長)
神庭伸子(鳥取県地域振興部文化振興監兼文化政策課長)
中永廣樹(公益財団法人鳥取県文化振興財団理事長)
姫村正仁(鳥取市文化交流課長)

BeSeTo演劇祭国際委員会

- 日本BeSeTo委員会 代表 中島諒人(演出家/鳥の劇場芸術監督)
委員 金森稔(演出振付家・舞踊家/りゅーとびあ舞踊部門芸術監督/Noism芸術監督)
委員 志賀亮史(演出家/百景社主宰)
委員 重政良恵(劇団SCOT制作)
- 中国BeSeTo委員会 代表 李国平(演劇評論家/中国戯劇家協会 副主席)
委員 王曉鷹(演出家/中国戯劇家協会 副主席/中国国家話劇院 副院長)
委員 崔 偉(演劇評論家/中国戯劇家協会 秘書長)
委員 李華芸(中国戯劇家協会 国際部主任)
- 韓国BeSeTo委員会 代表 ヤン・ジョンウン(演出家/劇団旅行者代表/ソウル芸術大学教授)
委員 ユン・ハンソル(演出家/グリーンビグ代表/檀国大学教授)
委員 ソン・ギウン(劇作家・演出家/第12言語演劇スタジオ代表)
委員 イ・ヒジン(プロデューサー/プロデューサー・グループ DOT)

今回のBeSeTo演劇祭は鳥取県だけでなく、利賀村(富山県南砺市)と新潟市でも開催します。

第23回 BeSeTo演劇祭 利賀

2016年8月28日(日)・9月4日(日)
会場:富山県利賀芸術公園

・日中韓3カ国語版 鈴木忠志演出
『ディオニュソス』

問合せ:(0763)68-2216 (劇団SCOT)

第23回 BeSeTo演劇祭 新潟

2016年10月1日(土)~15日(土)
会場:りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館

- ・陝西人民藝術劇院[中国・陝西省]『かごの鳥の青春—當青春不再懷念蝴蝶的傷』
・Noism0[日本・新潟]『愛と精霊の家』
・劇団旅行者[韓国・ソウル]『ジャングルブック』
・鳥の劇場[日本・鳥取]×劇団ティダ[韓国・江原道]共同制作公演『詩の教室』
・シンポジウム「21世紀の国際交流と劇場文化」

問合せ:(025)226-2554 (BeSeTo演劇祭新潟開催実行委員会事務局(新潟市文化創造推進課内))

第23回BeSeTo演劇祭 鳥取 カレンダー

	西部	中部	東部
8/27 (土)	14:00 シンポジウム 夢みなとタワー		
9/14 (水)			19:00 オープニング・レセプション 鳥の劇場[ホワイエ]
16 (金)		19:00 『蟹工船』 倉吉未来中心 小ホール	
17 (土)	19:00 『孫悟空 白骨夫人編』 米子市文化ホール メインホール	14:00 『蟹工船』 倉吉未来中心 小ホール	
18 (日)	14:00 『孫悟空 白骨夫人編』 米子市文化ホール メインホール		19:00 『麥克白! 맥베스!! 맥베스!!!』 鳥の劇場[劇場]
19 (月・祝)			14:00 『麥克白! 맥베스!! 맥베스!!!』 鳥の劇場[劇場]
24 (土)	16:00 『ラ・バヤデール—幻の国』 米子市文化ホール メインホール		
10/1 (土)			14:00 『ジャングルブック』 とりぎん文化会館 梨花ホール
2 (日)			14:00 『ジャングルブック』 とりぎん文化会館 梨花ホール
7 (金)		19:00 『かごの鳥の青春』 倉吉未来中心 小ホール	
8 (土)		14:00 『かごの鳥の青春』 倉吉未来中心 小ホール	
9 (日)			19:00 『詩の教室』 鳥の劇場[劇場]
10 (月・祝)			14:00 『詩の教室』 鳥の劇場[劇場]

託見します(無料・要予約) 各上演プログラムに合わせて、それぞれの会場で託見を行います。
※託見士手配の都合上、必ずご予約ください。ご予約は(0857)84-3268(鳥の劇場)まで。

チケット・予約

●上演プログラム(前売・予約・当日共)日時指定あり・全て自由席
大人2,500円/大学生2,000円* /中高生500円/小学生無料
*学生証の提示をお願いします。

●シンポジウム/オープニング・レセプション 無料・要予約

■予約 下記窓口にて前日までにご予約ください。料金は公演当日、各会場受付でお支払いください。
電話:(0857)84-3268(鳥の劇場)
ウェブ:www.birdtheatre.org/beseto23rd/
電子メール:ticket@birdtheatre.org

■販売 下記施設窓口で事前にお求めいただけます。
とりぎん文化会館 (0857)21-8700 / 倉吉未来中心 (0858)23-5390 /
米子市文化ホール (0859)35-4171 / 鳥の劇場 (0857)84-3268

予約・販売は
8月3日(水)より

劇団ドン [韓国・ソウル]

倉吉未来中心 小ホール

『蟹工船』 DONG Theatre Company
The Crab Cannery Ship

原作:小林多喜二 演出:カン・ヤンウォン

9月16日(金)19:00・17日(土)14:00

※9月16日(金)終演後に、アフタートークを行います

韓国語上演
(日本語字幕あり)

1926年に実際にあった事件をモデルとした、小林多喜二の同名小説をもとにした作品。「蟹工船」の背後には元祖ブラック企業といえる利益のみを追求する会社があり、ノルマ達成を目指す地獄のような労働が、時が経つにつれ更に過酷になっていきます。繰り返される苦役によって身体と思考がどのように変化して反抗が生まれ出るのか、劇団独自の表現手法によって描きます。

■劇団ドン

1995年、スタニスラフスキー・システムを学ぶ学生たちによって設立。スタニスラフスキー・システムを基に、リアリズムの枠を超えた独自のスタイルを創り出している。登場人物たちの感情を、洋の東西を問わない普遍的なものへと昇華させていくその表現手法は国内外で高く評価されている。

【主催】鳥の劇場運営委員会 鳥取県

【共催】公益財団法人舞台芸術財団演劇人会議 特定非営利活動法人鳥の劇場

【助成】平成28年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業 一般社団法人東京倶楽部



撮影Joo Seong Yoon



撮影Joo Seong Yoon

浙江紹劇藝術研究院 [中国・浙江省]

米子市文化ホール メインホール

『孫悟空 白骨夫人編』 Shaoju Art Research Institute of Zhejiang
Monkey King Thrice Beats the Bony Ghost

脚本:顧錫東 《七齡童》章宗信

脚本編集:浙江省文化局編集チーム(貝康 顧錫東)

演出:刑勝奎

中国語上演
(日本語字幕あり)

9月17日(土)19:00・18日(日)14:00

※9月17日(土)終演後に、アフタートークを行います

日本人にも馴染みの深い「西遊記」、中でも有名な白骨夫人のエピソードを取り上げて舞台化した作品。中国の伝統劇の一つである「紹劇」がベースになっているので、舞台衣装、音楽、メイクなど舞台全体から中国の伝統が感じられます。主人公である孫悟空は動きがコミカルで愛らしく親しみを覚えます。大人だけでなく子どもも楽しめる作品です。

■浙江紹劇藝術研究院

1956年、浙江紹劇団として設立。響きわたる節回し、素朴な音楽、豪快な舞台演出といった特色を持つ「紹劇」を元に、独特なスタイルを確立している。「孫悟空」を題材にした作品の演出の評価は高く、とりわけ『孫悟空 白骨夫人編』は1960年に映画化もされた。日本、デンマーク、オーストリア、香港といった海外でも公演を行い、好評を博している。

【主催】鳥の劇場運営委員会 鳥取県

【共催】公益財団法人舞台芸術財団演劇人会議 特定非営利活動法人鳥の劇場

【助成】平成28年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業 一般社団法人東京倶楽部



日中韓3カ国共同制作公演

鳥の劇場 [劇場]

『麦克白! 맥베스!! マクベス!!!』 Japan-China-Korea International Collaborative Performance
Macbeth! Macbeth!! Macbeth!!!

原作:W.シェイクスピア

演出:志賀亮史[日本] 李卓群[中国] オ・セヒョク[韓国]

日中韓
3ヶ国語上演
(翻訳字幕あり)

9月18日(日)19:00・19日(月・祝)14:00

※両日終演後に、アフタートークを行います

日本、中国、韓国の若い世代の演劇人の共同制作作品。題材とするのは、シェイクスピアの名作「マクベス」。中国からは伝統劇京劇で活躍する演出家と俳優が、韓国と日本からは現代劇の気鋭の演出家・俳優が参加。三ヶ国の演劇人は、昨年からすでに二回のミーティングとワークショップを鳥取で実施。本格的な芝居作りは9月頭から、再び鳥取・鳥の劇場でじっくり腰を据えて行います。どこの国、いつの時代でも普遍的な権力をめぐる闘争が、アジアの様式で鳥取から生まれます。

■志賀亮史[日本]

演出家。2000年に劇団「百景社」を旗揚げ、以後古典・文学を構成・演出した舞台をコンスタントに創作している。2009年利賀演劇人コンクール優秀演劇人賞受賞。

■李卓群[中国]

北京京劇院の若手脚本家・演出家。中国戯曲学院で戯曲・演出を学び、2011年より北京京劇院に所属。現代劇の脚本も手がける。

■オ・セヒョク[韓国]

劇作家・演出家。「正義の天下劇団コルバン」にて年間150回ほどの公演を韓国各地で行っている。受賞歴も多く、その戯曲は日本でも取り上げられている。

【主催】第23回BeSeTo演劇祭実行委員会 鳥取県

【共催】鳥取市 公益財団法人舞台芸術財団演劇人会議 特定非営利活動法人鳥の劇場

【助成】平成28年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業



李卓群演出作品

オ・セヒョク演出作品



志賀亮史演出作品

Noism [日本・新潟]

米子市文化ホール メインホール

劇的舞踊 vol.3 『ラ・バヤデール—幻の国』 Noism
La Bayadère- Nation of Illusion

演出:金森穰 脚本:平田オリザ 振付:Noism1

音楽:L.ミンクス《ラ・バヤデール》 笠松泰洋

空間:田根剛(DORELL.GHOTMEH.TANE/ARCHITECTS)

衣裳:宮前義之(ISSEY MIYAKE) 木工美術:近藤正樹

9月24日(土)16:00

※終演後に、アフタートークを行います

オペラやバレエなどで知られる物語を、Noismがオリジナル作品として描く「劇的舞踊」。脚本は劇作家・演出家の平田オリザが、古典バレエの名作『ラ・バヤデール』を翻案して、書き下ろしたもの。Noismの舞踊家に加え、静岡県舞台芸術センターから俳優が参加。スタッフに建築家やISSEY MIYAKEのデザイナーといった各分野のプロフェッショナルを揃え、ジャンルを越えて挑む、舞踊×演劇の作品です。

■Noism (ノイズム)

2004年4月に、演出振付家・舞踊家の金森穰のりゅうとびあ舞踊部門芸術監督就任に伴って設立。同会館を拠点に活動する日本唯一の劇場専属舞踊団。プロフェッショナルカンパニーNoism1と研修生が所属するNoism2の2つのカンパニーからなり、海外でも広く公演を行っている。新潟から世界を見据えたカンパニー活動と、舞踊家たちの圧倒的な身体によって生み出される作品は、国内外で高い評価を得ている。第8回朝日舞台芸術賞舞踊賞受賞。

【主催】日本BeSeTo委員会 平成28年度 文化庁 戦略的芸術文化創造推進事業

【共催】公益財団法人舞台芸術財団演劇人会議

【助成】一般社団法人東京倶楽部



撮影篠山紀信



撮影篠山紀信

『ジャングルブック』 Yohangza Theatre Company The Jungle Book

原作:R.キップリング 演出:イ・デウン

10月1日(土)14:00・2日(日)14:00

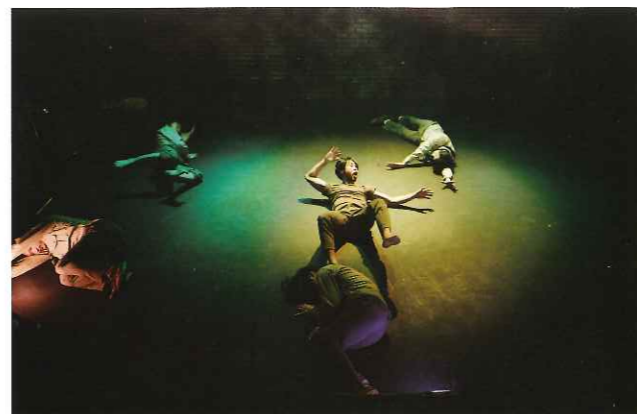
※10月1日(土)終演後に、アフタートークを行います

韓国語上演
(日本語字幕あり)

「ジャングルブック」はノーベル賞作家キップリングが約100年前に書いた短編童話集。狼に育てられた少年モーグリのエピソードはディズニーによってアニメ化されています。本上演は、そこでは描かれなかった「ジャングルブック」の別の面白さを見せてくれます。観客を巻き込む5人の俳優によるアンサンブルは、「ジャングル」のようにエネルギーに満ちています。

■劇団旅行者

1997年設立。俳優たちの身体の祝祭性、東洋的な音楽、衣装と舞台美術を融合させた、韓国的な“美”を基本にしたスタイルの作品は、国内をはじめ海外でも高く評価されている。2006年には、韓国の劇団としては初めてロンドンのバービカン・シアターに招待された。カイロ国際実験演劇祭大賞、グダニスク国際シェイクスピアフェスティバル大賞(ポーランド)などを受賞。



【主催】日本BeSeTo委員会 平成28年度 文化庁 戦略的芸術文化創造推進事業

【共催】公益財団法人舞台芸術財団演劇人会議

【助成】一般社団法人東京倶楽部 Arts Council Korea



『かごの鳥の青春—當青春不再懷念蝴蝶的傷』 Shaanxi People's Art Theatre The Butterfly Lovers

脚本・演出:李耀林

10月7日(金)19:00・8日(土)14:00

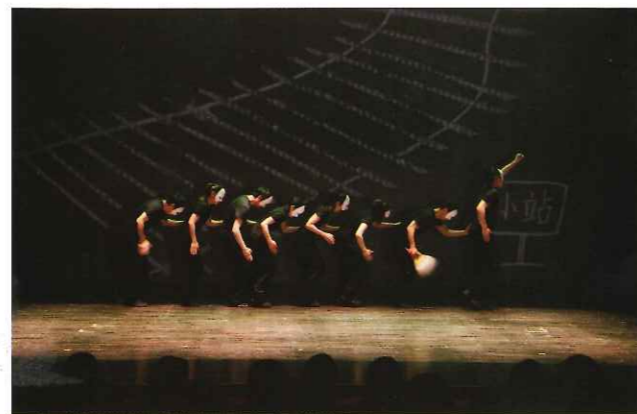
※10月7日(金)終演後に、アフタートークを行います

中国語上演
(日本語字幕あり)

中国では古くから誰もが知っている「梁山泊と祝英台」は、「ロミオとジュリエット」のような悲しい恋物語。これを若い俳優たちが、現代風にアレンジしています。大掛かりなセットを使わずに簡単な小道具とパントマイムで空間を表現し、生演奏やライブドローイングも織り交ぜながら、物語を繊細に描いていきます。若く純粋な登場人物たちは、私たちに人生の意味を問いかけ、純愛への憧れを呼び起こさせます。

■陝西人民藝術劇院

創立以来、160本余りの大規模作品の制作を行い、公演回数は6,000回を超え、観客数は延べ420万人に達している。大規模作品ばかりでなく、小規模作品の上演にも力を入れており、「毎週現代劇、毎月新作劇」という目標を実現、幅広く市民に作品観劇の機会を提供してきた。また地域の特色を織り込んだ演劇文化の確立にも貢献している。



【主催】日本BeSeTo委員会 平成28年度 文化庁 戦略的芸術文化創造推進事業

【共催】公益財団法人舞台芸術財団演劇人会議

【助成】一般社団法人東京倶楽部

『詩の教室』 Collaborative Performance by BIRD Theatre Company TOTTORI from Japan and Performance Group TUIDA from Korea Classroom of Poem

構成・演出:ベ・ヨソプ 中島諒人

10月9日(日)19:00・10日(月・祝)14:00

※10月9日(日)終演後に、アフタートークを行います

日韓
2ヶ国語上演
(翻訳字幕あり)

日本による朝鮮の植民地支配・言葉の抑圧などをテーマに、詩を切り口にして太平洋戦争とその前後の状況を見つめます。両劇団の俳優、演出家が、個人史や学んだこと、教えられてきたことを共有することから作業を開始し、日本の戦争体験者へのインタビューや広島訪問なども行って、時代への理解をともに深めました。ドキュメンタリー的な過去の時間の再現、想像の場面をコラージュしながら、過去の悲劇を凝視し、共に生きる未来のあり方を模索します。

※台本として「国語の時間」(作:小里清)を一部引用します。

■鳥の劇場

2006年、演出家・中島諒人を中心に設立。鳥取県鳥取市鹿野町の廃校になった学校と幼稚園を劇場に改造して、演劇活動、劇場運営を行う民間の芸術団体。鳥の劇場という名前は、劇団名でもあり、場の名前でもある。創作活動を中心にすえて県外や海外でも上演をする一方、招聘事業や教育普及事業も併行させ、「公共の場」としての劇場の姿を模索している。

■劇団ティダ

2001年、韓国国立芸術大学の卒業生によって設立。江原道華川郡の廃校をアトリエに改造し、拠点として創作活動を行う劇団。海外のカンパニーとの協同作業や教育普及事業を積極的にを行い、華川郡の文化活動にも深く関わっている。道化劇を取り入れ、人形劇、仮面劇、音楽の融合を図る「韓国的かつコスモポリタンである」スタイルは、海外でも高い評価を得ている。

【主催】第23回BeSeTo演劇祭実行委員会 鳥取県

【共催】鳥取市 公益財団法人舞台芸術財団演劇人会議 特定非常利活用法人鳥の劇場

【助成】平成28年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業



過去の共同制作作品



『詩の教室』共同制作風景

オープニング・レセプション Opening reception

9月14日(水)19:00~

料金:無料(要予約) 世界的に活躍される演出家で、本演劇祭創立者の一人でもある鈴木忠志氏にもご参加いただき、この演劇祭への思いなどを語っていただけます。

シンポジウム Symposium

「海をつうじて行き交うもの 異なるものとの交流が未来をひらく」

8月27日(土)14:00~16:00 料金:無料(要予約)

鳥取県境港市は、水木しげるの生地として妖怪で有名。妖怪は現在、ポップなキャラクターとして語られ、町おこしのツールともなっている。しかし、それはもともと、自然や暗闇、死への畏れを背景に、見えている日常の向こうに見え隠れする影のようなものとして想像されたものではなかったか。とりわけ境港は、港町として多くの人々や情報の交流の中、たくさんの物語が流れ込み、それが地域に多様な「妖怪=異なるもの」のイメージを堆積させた。

現在、文化とか芸術の意義が語られる時、その「暗さ」の意味が語られることが少ない。しかし、文化や芸術は、生の明るく健康的な部分の裏側、深く暗い精神的なものとして培われた部分も大きい。演劇ももちろん、そういう精神的な営みとしての根幹を忘れてはならない。本シンポジウムでは、まず、小泉凡さんに基調講演として、妖怪と人々の生活や精神のつながりを語っていただき、そのあとのディスカッションで、中国「西遊記」、韓国の詩人・尹東柱などにも、視点を拡大します。

●基調講演

「異界と人間を考える
—水木しげると小泉八雲の世界から—」

講師:小泉凡
(鳥根県立大学短期大学部教授/小泉八雲記念館館長)

●シンポジウム

〈コーディネーター〉
五島朋子(鳥取大学地域学部附属芸術文化センター教授)

〈パネリスト〉
小泉凡(鳥根県立大学短期大学部教授/小泉八雲記念館館長)

堀 誠(早稲田大学教育・総合科学学術院教授)

馬男木美喜子(福岡・尹東柱の詩を読む会代表)

渡部万里子(NPO法人こども未来ネットワーク理事長)

中島諒人(演出家/鳥の劇場芸術監督)



小泉凡

各プログラムの予約・申込については裏面をご覧ください。